

### オンライン授業

オンラインはとても便利  
いつでも、どこでも、誰とでもつながることができる

学校は、教師と子ども、子どもと子どものつながりを生むところ  
つながりは糸が絡むようにつくられていく  
糸が絡み合うほど、強固な布となる  
学年の終わりにその布は、温かいものとなる「中里仲良し」

この布はオンラインだけでは、つくることできない

縦の糸はあなた 横の糸は私  
織りなす布は いつか誰かを  
温めうるかもしれない

中島みゆき



## 登校中の交通安全指導より

登校途中、すれ違う前に遠くから6年生男子2名が挨拶をしました。驚きました。朝の交通安全指導を開始して、初めての出来事でした。思わず、「おはよう」と返答する前に「素晴らしい、さすが野球部だね」と声を掛けてしまいました。

私は中里小の前に佐々小で勤めていました。隣の高校の野球部の挨拶に感心させられることが度々ありました。やはり、目標に向かって努力している学生の挨拶には「凛としたもの」が感じられます。思わず「雲はわき光あふれて・・・」と歌がでてきます。

挨拶の応答をするのは、容易ですが自分から挨拶するのは、ちょっとした勇気や元気が必要です。中里小学校の挨拶の目標は、「自分からあいさつをしよう」です。

## 図書室へ行こう！

中里小には、読書が大好きな子どもがたくさんいます。雨の日は、図書室は大賑わい。多くの児童が、自分の読みたい本を借りて、教室で読んでいます。

今年度の読書目標は、次のようになっています。

令和元年度貸し出し冊数（昨年度）	2 3 5 1 6 冊（一人当たり およそ 4 3 冊）
令和 2 年度中里小目標冊数	2 5 0 0 0 冊（一人当たり およそ 4 5 冊）
低学年目標冊数	一人当たり 1 0 0 冊
中学年目標冊数	一人当たり 8 0 冊
高学年目標冊数	一人当たり 5 0 冊
5 月現在全校読書冊数	2 9 8 4 冊（一人当たり、およそ 5 冊）

読書冊数は、あくまでも数でしかありませんが、小学校の段階では、本に触れること、本を開くことも大切な習慣と考えます。

また、「中里小は、冊数ばかりに追われるのではなく、読書を本当に楽しんでいる子が多い」と図書司書の先生が言われています。うれしい限りです。

私が我が子に読み聞かせをして忘れられない本

「お父さんお月さまをとって」「ぐりとぐら」「1 1 ぴきのねこシリーズ」  
「いないいないばあ」「はらぺこあおむし」「いちご」「ティラノサウルスシリーズ」

子供のお気に入りの本は、何回も読まされたのを覚えています。今となっては、よい思い出です。読み聞かせができるのも、小学生まででしょう。そのチャンスを大切にしてください。

## 児童会活動（委員会活動）頑張っています。

新型コロナウイルス感染症対策として、体育館での全校集会等は行っていません。全校集会等は、校内放送で行っています。2日（火）9日（火）の全校集会は、委員会紹介でした。

計画委員会、放送委員会、生活委員会、保健委員会、飼育栽培委員会、環境美化委員会、掲示広報委員会、図書委員会、給食委員会、集会委員会

それぞれの委員会が、「中里仲良し」をめざし、学校をよりよくするために取り組んでいることを紹介しました。中里小学校をみんなでつくっていこうという気持ちが伝わり、大変うれしく思いました。新型コロナウイルス感染症対策の中で、委員会活動はきちんと行われています。今後の活動の充実を期待しています。

